

# 平成28年度 第1回 会津図書館協議会 会議録

日 時：平成28年10月6日（木）13：30～15：30

場 所：生涯学習総合センター 研修室1

出席者

委員 8名 出席 [欠席 2名]

事務局 生涯学習総合センター所長、会津図書館長、図書館員主幹、副主任

1. 会津図書館長挨拶
2. 会津図書館協議会委員長挨拶
3. 新委員紹介 成田 勝義委員
4. 議事 質疑応答

## (1) 平成27年度統計資料について

委員：「年間利用統計」団体登録数が増えているのに、団体貸出冊数が減っているのはなぜか。

事務局：登録団体の1回あたりの貸出冊数が減っており、グループホームの登録が2か所増えたため。

委員：「資料購入統計」市民一人あたりの購入費は全国的にみたらどうなのか。

事務局：全国的数値は今把握していないが、168円は福島県内の公共図書館としては26館中17番目である。人口が少ない図書館は1人あたりの図書費が多くなる傾向があり、福島県内の平均は図書費約150円、資料費約208円であった。

委員：「各種サービス」ナクソス・ミュージック・ライブラリーの利用者は固定しているのか。費用対効果はどうか。

事務局：固定化している。年間の利用料は162千円であり、スマホ等の普及により減っていると考えている。

委員：最近スマホやタブレットで雑誌の読み放題サービスがあるが、導入している図書館はあるのか。図書よりも雑誌の利用の方が多いかと思う。

事務局：公共図書館としての把握はしていない。そもそも公共図書館向けサービスがあるかどうか。電子書籍の導入は検討事項である。雑誌については調査する。

委員：「登録者統計」登録者の数は増えているが、貸出冊数が減った原因は何か。

事務局：新規登録については、4か月健診での読み聞かせ等により、子ども連れの来館者の増や、夏休み中のこどもの登録が増えたため。貸出冊数が微減なのは登録していた避難者がいわき地区へ引越したことが原因の1つと考えている。

委員：移動図書館の中高生の登録人数・貸出冊数が増えており、いいことだ。理由はなにか。

事務局：昨年から会津養護学校へも巡回するようになり、その新規登録が増えている。

委員：移動図書館を利用するよう、公立の中学校にも働きかけてはどうか。中高生の本離れに効果的かと思う。

事務局：現在、市内の図書館から遠い小学校6校を巡回しているが、中学校への運行はない。中学校への巡回は検討していく。

委員：「除籍冊数」は3,139冊とあるが、毎年何冊ほど除籍しているのか。今回除籍した本はどのようなものか。また、除籍基準はあるのか。不明本を除籍か。

事務局：新館時からICタグの貼り付けをしており、なるべく除籍しないようにしているところ。旧館時は蔵書点検を3年単位で行っていたが、現在は毎年蔵書点検を行っており、不明5回のを除籍できるようになり、昨年度はその除籍を実施した。旧図書館の不明本をまとめて除籍したことも除籍数が多い要因。不明本以外でも、実用書とか、法律関係とか内容が古くなったものを除籍している。

委員： 不明というのは、紛失もあるということか。  
事務局： ある。しかし、前の図書館よりは大幅に少ない。  
委員： 次回からはこのように3千冊もの除籍はないということか。  
事務局： 平成26年度統計を見ると4,360冊あり、新刊を購入する分、排架や書庫もスペースが限られており、考慮しながら除籍をしている。また、8か所の公民館図書室や移動図書館の図書の除籍冊数も含む。公民館については内容の古いものを司書選定で除籍している。  
委員： 純粹に不明本は少ないのではないか。

## (2) 平成28年度図書館要覧について

委員： 視覚障がい者の方から図書館の拡大読書器を利用して便利だったという声があった。図書館に拡大読書器何台あるのか。

事務局： 一般図書フロアに1台、グループ読書室・対面朗読室に1台ある。

委員： 朗読ボランティアは何人いるのか。

事務局： 4名登録していて、希望により日程調整をして対面朗読室で朗読している。実績として、対面朗読は、2名の方が昨年度くらいから利用し、件数は増えている。視覚障がい者等サービスは、今年度1名の利用があった。

委員： 開館5周年記念事業「図書館所蔵資料展」で會津稽古堂の名前の由来となった「稽古堂」について関連資料を使って、PRすべきではないか。

事務局： そのような展示を設けていく。

委員： 「資料展」は内容はいいと思うが、展示期間が冬季の4日間では短いのではないか。

事務局： 12月開催予定時には3日間だったが、日程変更で十日市もあるので4日間にした。会期中は職員が会場に張り付かなくてはならず、広報に力を入れて4日間に多くの方に集中して来ていただきたい。

委員： 市政だよりの十日市の広報欄のところに「資料展」のことを載せてみてはどうか。

委員： 昨年の書評カフェは大変よかった。今のところ書評カフェの参加者は何人いるのか。

事務局： 発表者は5名の申込みがあった。10/1から観戦者30名の募集をしているが、まだ1桁なので興味がある方がいれば、ぜひ案内をお願いしたい。

委員： 発表者の5名の方が当日何の本を発表するのかPRしてはどうか。本によっては聴きたいという人もいるのではないか。

事務局： タイトルは内緒で、発表するのは当日となる。

委員： 昨年発表したが、発表者5名がライバルでもあるので発表者同士の駆け引きもある。

## (3) 平成28年度事業実施状況（上半期）について

委員： はじめての古文書、古文書講座初級編は定員に対し、募集人数はどうだったのか。

事務局： はじめての古文書は、20名に対し、約30名の申込みがあった。初めて古文書に触れる方を対象としているため、過去に初級編を受講した方はお断りした。初級編は、定員30名に対し、32名の参加者で今回は断った方はいない。

委員： 「古文書講座 初級編」は初級編といいながら、範囲が広く奥が深いと思われるが。

事務局： 初級編としてはいるが、初心者には難しいと意見があったので、今年から「はじめての古文書」講座を始めた。

委員： 古文書講座の人気は最近高まっている。このような講座で古文書を学ぶ人が増えるのはいいことだ。

委員： 「はじめての古文書」を受講してから「古文書講座 初級編」を受講した方もいるのか。

事務局： いる。

- 委員： 募集定員は研修室の広さの関係か。
- 事務局： 「はじめての古文書」20名は初回として適当かと決めた。初級編は受講回数によって、学習の差がひらき、受講者のレベルの違いが大きいと講座を進めにくいと考え、定員30名としている。
- 委員： そろそろ中級編も考えてはどうか。
- 事務局： 実際は「古文書講座 初級編」としているが、講座の内容は中級レベルも入っている。
- 委員： ブックスタート事業について、対象はどうなっているのか。
- 事務局： 4か月児健診で実施しており、会津若松市内のすべての子どもを対象にしている。会場は基本、北会津保健センターと河東保健センターの2か所となる。
- 委員： 「外国語のおはなしのへや」で読み聞かせで使う絵本は、図書館にあると望ましいが、絵本は手に取って見ないとふさわしいものか分からず購入が難しい。外国の方も絵本を把握しているわけではない。ブックフェアでもらえる絵本もあるので、職員に行ってもらうことを検討してはどうか。

#### (4) 第二次子ども読書活動推進計画における平成28年度活動計画書について

- 委員： 「家読のすすめ」のチラシとはどのようなものか。
- 事務局： 今回配布した「こどもとしょかんだより」で「家読」についてPRしたり、年に1~2回「家読のすすめ」を作成し、発行している。また、あいづっこニュースにおいて年1回「家読」としておすすめの本も掲載している。図書館や、認定こども園、保育園等においても配布している。関係機関等と連携して、PRしていく。
- 委員： 図書館に来る人は「家読」をしているでしょうから、来ない人にどのようにPRしていくのが大切だ。
- 委員： 先日来館した時に小学生が見学に来ていた。市内全部の小学校が来るのか。
- 事務局： 市立小学校は、19校中のほぼ全ての学校の2年生が見学に来ていた。
- 委員： それをきっかけとしてライブラリカードを作る子どももいると思うので、ぜひ市内の全部の小学校に図書館見学に来てもらいたい。
- 事務局： 2年生の生活課の授業で来ているので、見学の希望があれば全て受け入れている。
- 委員： 見学の様子を見ていたら、本を自分で選ばない児童がいた。そういう子どもへ職員が相談にのっていて、声かけが大事だと感じた。
- 委員： 活動計画書の担当課の欄に河東公民館と大戸公民館が無い。これは事業を行う担当者の熱意の差があるのか。
- 事務局： 代表公民館が取りまとめて計画を出している。まったく取り組んでいないということはないと思う。公民館図書室の整備支援を図書館職員が行っており、図書室の広報活動は行っていると認識しているので、計画書の内容は不足があったと反省している。実績報告ではきちんと示していきたい。

#### (5) その他(意見・要望)

- 委員： 現在、一般室の展示コーナーで会津大学短期大学部学生おすすめ本の展示をしており、大変人気がある。色々なグループを巻き込むことで、図書館まで来ない層を巻き込んでいける。自分の書評が出れば図書館へも来るのではないか。小学生の見学も、借りた本の感想をもらって、小学生が選んだ本として展示等していく、利用者から感想を書いてもらい、コメントを箱に入れてもらい展示につなげるとか。入館者数とか結果につながればいいと思う。
- 事務局： 学生の手書きポップとともに展示し、裏面には短大関連デザインの展示を行っている。来年度も読書週間行事として、利用者のおすすめ本展示を企画予定で、ご意見をふまえて、よりよい方向で進めていきたい。
- 委員： 若者はSNSの活用が多いので、フェイスブックで発信したり、若者の意見を取り入れ

ながら、情報交換する場があれば新しい利用者の獲得につながるのではないか。少し、若者側によって、言いやすい、見やすいということが大切かと常日頃感じる。

委員： 北陸のある公共図書館の話だが、2,000冊寄贈したが、1,800冊が除籍されていた。司書でない町職員が貸し出しされていないことを理由に、除籍していた。当館でも1,600冊除籍を行ったが除籍は難しい。古くても図書館だよりでおすすめすると貸出があるかもしれない。

委員： こどもクラブで本を読む機会が少ないと感じる。待機している時間があるので、読書につなげることはできないか。

委員： 湊小学校でスクールバスを待っている間に行う読み聞かせが事業となり、地域の方が継続して、学校で読み聞かせをしている。

委員： 読書する生徒が減っていると感じるが、きっかけがあれば読むことにつながる。忙しいこと、携帯があることで読書時間が限られ、高校生にとって難しい。

委員： フロアが一般とこどもと東側でつながっていて、一般が混んでいる時、こどもフロアのソファを使いたいと思うことがある。全部でなくても時間等を決めて利用させれば、有効活用につながるのではないか。試行も含めて検討して欲しい。

## 5. 閉会